

元祖“ムダゼロ” 公明党の挑戦

かい
魄より始めよ!—

政治家自身が改革します

国会議員の歳費と国家公務員幹部職員の給与を10%カット、首長の退職金も見直す

お役所仕事にメス!—

国の行政を スリムにします

“二重行政”と指摘されている国の出先機関を廃止・縮小して公務員数を削減
公益法人の仕事の中身を厳しくチェックして不適切な支出をカットします

ムダはまだある!—

公明党だから なくせます

会計検査院の機能を強化し、行政のムダを徹底的にならず防衛関連経費を5年間で5000億円のコスト縮減
国家公務員のタクシーチケット利用を全廃
政府公用車をすべて見直す(台数削減、エコカー導入)

ムダ削減

公明党はこれだけやってきた

公明党はこれまで、
政治・行政のムダや議員特権などを
徹底して洗い出し、見直してきました

●国家公務員定期代で年間55億円削減

国家公務員の定期代を割高な1ヶ月支給から6ヶ月支給に変更。

●道路の建設コストを半分に

1998年度に15兆3000億円だった国・地方の道路投資額が2007年度には約8兆1000億円に。

●国7700人超(08年度まで3年間)、

地方9万人超(06年度から2年間)の公務員を削減

●国の特別会計を改革し総額27兆円の財政貢献

国の「第2のサイフ」とされる特別会計をスリム化し財政健全化に貢献。

●国の隠れた資産の売却で 6000億円超を国庫返納へ

独立行政法人の資産について、売却し国庫に返納することを決定。

●特殊法人など163の

政府関係法人を85に半減

●行政のムダゼロ推進で1175億円を削減

政府全体で公用車や出張旅費の効率化など税金のムダを洗い出し、08年度まで1175億円の削減効果。

●特別交通費、

肖像画作製費など議員特権の廃止

勤続25年以上の国会議員への月額30万円の特別交通費、肖像画作製費100万円などを相次ぎ廃止。